常磐毎日新聞
日刊
九月二十一日夕刊
定價 一部金五錢 一ヶ月金[illegible]
廣告料 普通一行五拾錢 場所指定一行七拾錢
日曜祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人 坂本忠[illegible]
發行所 常磐毎日新聞社 電話 六三〇番
印刷所 常磐毎日印刷株式會社 振替口座東京四〇二二〇番

天氣豫報
今晩は北の風晴
明日は北西の風晴時々曇

大掛りな竊盜
水道鐵管三十五本
何時の間にか紛失
車馬に積んで盜み去つたか

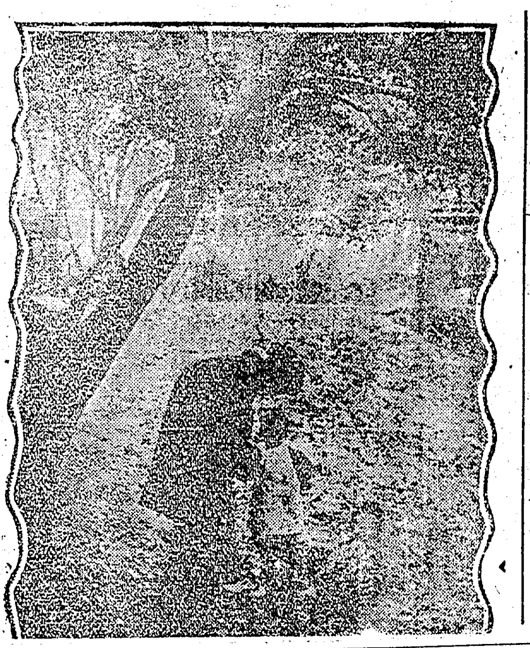
平市役所水道部では市内東部方面の鐵管入替への爲め本年五月中旬頃から**立町裏** 第三小學校前道路に積んで置いた水道用鐵管三十五本（價格約一千三百圓）がいつの間にか紛失してゐたのをこの程發見平署に屆出た同署では餘りにも大掛りな竊盜事件とて**重大視**し直ちに司法部總動員で搜査に努めてゐるが犯人は大体目星がついた模樣である、この鐵管は一本の重量三十六貫もあり二、三人でなければ到底運搬することが出來ないもので、これから見て**數名が**結託してトラック又は車馬を利用し運搬竊取したものらしい尚市當局は大狼狽を來し或は水道部の責任問題ともなる虞れがあるので明二十二日午後一時から急據水道委員會を招集種々對策を講ずることゝなつた

“銃後”支援の
實際運動に入る
平市の軍事後援會

八月に結成して直ちに活動に入つた平軍事後援會では全市各區を總動員して資金の充實に力を注ぐ一方應召兵遺家族の生活安全を標榜して救護運動に乘り出し、目下救護該當者を調査中であるが大體五十戸内外で今後は月々生活費の補助、家事の援助等に全力をあげることゝなり着々準備を進めてゐるなほ市當局もこれに準じて税額の減免等を考慮する筈で全市をあげて銃後の實が成しとげられるわけである

平市出身入營兵
何れも大元氣で
鄕里へ宜敷くとの傳言
靑沼、藤井兩氏慰問

靑沼平市長及び藤井平分會長は過日若松市に赴いたのを機に平市出身の入營兵に面接種々激勵慰問したが何れも大元氣で郷里の皆樣によろしくとの事であつたと



父よ安心あれ坊やは温和し　寫眞

日本刀
百十八振を
海軍へ獻納

内郷村白水杉山炭礦々主杉山朝光同藤光氏兄弟はこの程秘藏の日本刀百十八振を海軍省へ獻納した兩氏は常磐炭界の立志傳中の人として信望あつた故杉山朝吉氏の令息で亡父が蒐集しておいたものをかゝる時局に役立たせることが出來れば父も地下で滿足するだらうと今回獻納に及んだもので海軍省でも日本刀が非常に拂底してゐる折柄とて大喜びであると

湯本銃後
募金好績

湯本町國防後援會は第一期基金として五千圓を一般から募集することゝなり去る十六日から各區長が各戸を訪問寄附募集に努めてゐるが先づ入山炭礦の二千圓を筆頭に早くも三千圓が纒まつたこの調子では本日中に豫定の五千圓はらく／＼突破出來る模樣で來月から第二期充實計畫に入る見込みであると

優勝の磐中軍が
祝賀會の費用を
國防獻金に寄附
本社に寄託し來る

本社主催中等學校教員野球大會の優勝旗を再度磐女軍の手より奪還して喜色横溢の磐中軍は高らかに凱歌を奏して榮えある優勝旗を圍み祝賀會を開く筈であつたが本年度の大會は銃後の意氣を示す事が眼目で非常時の一色に終始した點に鑑み祝賀會を廢しその費用を國防獻金に寄附する事となりけふ本社に金一封を寄託し來つたので直ちに平市役所の手を通じて手續きを了した

映畫會の純益獻金

平聯合青年團では過日支那事變の映畫會を催した純益金二十五圓五十錢を皇軍慰問金として獻納した

庶民金庫
總代會開く

平庶民金庫は廿五日午後一時から臨時總代會を開くが提出議案は左記の如くである

組合事務所住所名義變更の件、事業區域名義變更の件、餘裕金運用範圍擴大の件

電柱委員會

市内南裡田圃の第五小學校新築敷地の電柱移轉交渉委員會は明二十二日午後一時から市會議事堂に開く

建築材の値狂に
公會堂委員が對策

總工費八萬圓で建設される平市公會堂は既報の如く既に基礎工事も終りいよ／＼本工事に着手することゝなつたが最近の建築材暴騰等により設計も多少違つてくるので明二十二日午後一時から市會議事堂に建築委員會を開き協議する

平署嚴戒
自轉車が
頻々と盜まれる
專門賊の仕業か

最近平地方に自轉車泥が橫行、市内各商店の店先や集金場所から頻々と盜まれてゐるので平署では各地に手配犯人搜査中であるが竊取方法の頗る巧妙な處から觀て專門賊の仕業とされてゐる

平商遠足
二十四日に

平商の秋季遠足運動會は來る二十四日催される

四倉の繭市場
―けふから開場―
收繭一萬貫增豫想

四倉繭市場は今二十一日から開場したが晩秋繭の出廻り數量は昨年より一割乃至二割增加の見込みで出廻りの最盛期は二十五、六日頃尚一郡下の收繭豫想は約五萬貫で昨年より一萬貫增加の見込み

臺所の脅威
鷄卵が高い

最近市内の八百屋さんに行つて鷄卵の高いのには奥さん方も全くの驚きで一個五錢乃至六錢が現在の相場だ、この高値は今春鷄卵の主産地愛知縣に鷄ペストが蔓延して雛の移入が禁止された結果各地方に鷄飢饉を現出從つて市場は卵の不足を來したもので目下のところ三十割といふベラ棒な高値を見せ昨年同期に比すると四割一昨年よりも約十割高く當分この値段が持續するといふから正にお臺所の脅威である

武藏山の一行が
來月平市に相撲興業

縣聯合保護至道會並に大日本教化會主催の東京相撲大會は來月十一、二の兩日平市（場所未定）に擧行される、一行は大橫綱武藏山を始め兩關、五ツ島、大邱山、九州山、和歌山、和歌島、出羽港、綾川、笠置山、新海、綾昇、防長山、出羽ノ花、綾若、青葉山、駒ノ里等二百餘名で特別會員券二圓（前賣一圓五十錢）普通會員券一圓五十錢（前賣一圓）何れも中錢なし

平市聯合青年團の
團旗樹立に際して
團長　山崎忠兵衛

既報平市聯合青年團は十九日縣社子鍛倉神社に於て新調團旗の樹立式を擧行したが當日の團長山崎忠兵衛氏の挨拶左記の如くである

親愛なる青年團員諸君、我平市聯合青年團は去七月十八日創立せらるゝや時恰も帝國の非常時局に際會し北支問題勃發以來支那事變に擴大の今日まで連日連夜或は出征軍人の歡送に或は家族の慰問救護に或は國防其他の獻金に或は軍用列車の給水接待に或は軍馬徵發の助勢勤務に所謂銃後の熱誠を盡し晝夜の別なく各團總動員を以て出動活躍を續けて參つたのであります、此秋に當り青年團精神の表象たる團旗の新調漸く成り玆に來賓各位の御臨席を乞ひ多數團員諸君の參集を得て縣社小鍛倉神社の大前に盛大なる團旗樹立の式を擧げ併せて我忠勇無双の出征皇軍將士の武運長久を祈願し遙かに深甚なる敬意と滿腔の感謝を捧げますことは私の最も欣仰感激措く能はざる所であります、本日樹立の平市聯合青年團旗は純白の絹に眞紅の平市章を染め拔き青の一字を縫ひ出したる極めて簡素なるものでありますが之を以て純潔にして生一本なる青年の熱誠を表象せんとしたものであります

即ち我青年團旗の翻る處此未曾有の國難を打開せずんば止まざるの氣概と帝國の前途を背負て立つ中堅青年の心意氣を遺憾なく顯揚せしめんと念願せるものであります、思ふに今次の大事變は蘆溝橋に突發せる一偶發事件に非ずして其因て來る所深遠にして錯雜し多年叫び來たれる所謂非常時の發が即ち今日の支那事變となつて展開されたものであります、我が帝國政府の斷乎たる決意と我が勇烈なる皇軍の決死的奮鬪と全國津々浦々に湧き起る國民の熱誠と渾然一體眞に美はしき擧國一致の實を示し皇軍の往く所連戰連勝實に破竹勢を以て大日本帝國の威力を中外に宣揚しつゝあることは御承知の通りでありますけれ共有終の美たる東洋平和確立の大使命を達成せんがためには前途更に尚幾多の難關が橫たはつて居ることも十分認識しなければならないのであります、即ち我等青年は一旦緩急の場合と雖も慌てず騷がず一時の戰勝に醉ふが如きことなく大國民の態度を持し堅忍持久の精神を以て入りては心身の修身練磨に産業經濟の確立强化に、出ては犧牲的勤勞奉仕の實踐躬行に永續的實行力を以て國内銃後の重責に任じ融合團結相携へて國難打開に赴くことが國家總動員下の日本青年として御令旨に答へ奉る唯一の途でなければならぬと固く信じて疑はないものであります

親愛なる團員諸君

我等は皇軍將士の決死的辛苦を偲びつゝ今日までこの緊張と熱誠を持續して擧團一致、一踏終局の目的に邁進せんことを誓ひ本日の儀式をして更に一層意義深からしめたいと希ふものであります、所感を述べて挨拶と致します

平商庭球部
水中軍擊破

平商庭球部は十九日水戸高等學校コートに開かれた近縣中等學校庭球大會（參加二十二校）最後の決勝戰に出場歌川、北島兩選手が四對一で見事水中チームを破り榮ある優勝カップを獲得した

露營の夢に
時局意識强調
廰原教官指導の射擊

平商の五年生は既報の如く今二十一日廰原教官指導の下に神谷村射擊場で實彈射擊を試み軍國の秋を謳歌したが更に今晩は同所附近に露營し時局意識を强調する筈

加藤伍長
無言の凱旋は
來月初旬頃か
當方聯隊に安置

既報北滿警備の華と散つた内郷村出身故陸軍歩兵伍長加藤正英君の遺骨は十九日〇〇聯隊に到着當分同隊に安置の上十月初旬頃鄕里に無言の凱旋をする筈

舊平窪消防手に
けふ辭令を交附
是れを機會に秋季檢閲
社前に奉告式

平消防組は舊平窪に第四部を設置し消防手の辭令を交附する機會に秋季檢閲を執行する事となり本廿一日午前九時から平署會議室に組員一同集參、令旨捧讀の後辭令を交付し八卷署長の訓示あり直ちに縣社子鍛倉神社並びに飯野八幡神社に奉告式を擧行、磐中校庭で檢閲を終へ聚樂館に懇親會を開いて結束を固めた

平市青年學校の
夜學はけふから

平市青年學校の夜學は今二十一日から開始される各講師は左の如くである

△篠山校長―修身、公民、△瓜田―珠算、簿記、△大和田―國史、△水竹―國語、△大越―商業、英語、公民

平市人事

回出生
△紺屋町二四現住小名濱町榮町一馬目安一長女ハル子さん
△鍛冶町八小野勤氏長女貞子さん

回婚姻
△平市新川町二三新聞記者大越洋君（元）と小名濱町古湊一隆次氏次女伊藤キヨ子さん（三）

回死亡
△紺屋町二四馬目安一氏長女ハル子さん（一）

平職業紹介所

回求人の部
△女工四十歳迄 給料面談 尋卒程度
△鐵工 三十歳以下 給料面談 尋卒程度
△採炭夫 十八―四十才迄 日給一圓五十錢 尋卒程度
△印刷工 年令不問 委細面談 尋卒以上
△土工夫 日給一圓二十錢 教育年令不問
△雜夫 日給七十錢 教育年齡不問
△牛乳配達 三十才位 給料面談 高卒程度

回求職の部
△鐵工 三十一才 尋卒
△雜夫 二十二才 高卒
△土工夫 四十九才 尋卒
△漁夫 三十才 高卒

ラヂオ
JOHK

今晩の部

▼後六、〇〇 童謠劇 大阪童謠劇研究會外
▼後六、二五 農家の時間『軍部より農村に望む』陸軍糧秣本廠長陸軍主計少將鹿野澄
▼後七、三〇 講演（天津より）馬廠攻擊實況 赤柴部隊陸軍歩兵大尉水口照夫
▼後八、〇〇 馬と虫の鳴聲（口笛）高須賀大三郎
▼後八、一五 俚謠『おつゝら馬唄』鎌田容藏外
▼後八、三〇 ハープトフルート 加藤敬子外
▼後八、五五 浪花節『上洲長脇差閻魔堂十人斬り』木村松太郎
▼後九、三〇 時報 ニュース 明日の話題 氣象通報 番組豫告

明日の部

▼後〇、〇五 木琴獨奏「ヴェニスの謝肉祭」外 星山義男
▼後六、〇〇（子供の時間）うたとピアノ「日の丸行進曲」外 後藤登喜子外
▼後七、三〇 國民協力講演（第一日）「國民精神總動員について」小泉又次郎外
▼後八、三五 ラヂオスケッチ（大阪より）「大追擊の日」松本翫一外
▼後八、五五 軍歌物語「思ひ出の進軍歌」「永井建子作品祭」

白雨劍風連
大島多慶夫作
井川洗厓畫
布施長春[illegible]

一二五八 …… 臥龍坡下 （二）

「はい／＼。參りましてござります」

と、老婆さんは奥の方へ歸つた[illegible]の響を[illegible]で遠く聽きながらゆく。

五左衛門は[illegible]を[illegible]で眺いてから、そろ／＼と歸り仕度をしてゐる駒子の顏を見やつた。

「駒子さん。一つ相手になつて呉れまいか。一人で酒を飲むのもうまくはない。一緒に飲まう。何しろ十年ばかりこの邊とは御無沙汰をして居るのでな」

「十年もね、そりや大分隔つて居りますよ」

「お前さんはお酒が好きかい」

「へゝゝゝ」

と、駒子はくづれさうに[illegible]をといて

「好きどころぢやございませんよ。まあ／＼[illegible]る方でね。へゝゝ」

老婆さんは[illegible]な徳利の先をつまみながら、片つ方の掌へ猪口を二つのせて來た。

「手盆でございますよ」

「おゝ。それで[illegible]ぢや」

お銚は徳利と猪口を受取つて、まづ猪口を駒子の方へさした。

「いや。奥樣。旦那樣の方から」

と、駒子は手を振つた。

が、世故[illegible]れてゐるお銚はこぼれるやうな笑顏をして、無理から猪口を駒子に握らせて、なみ／＼と酌をしてやつた。

「濟みませんな」

「[illegible]んで[illegible]に日は[illegible]れないからのう」

「へゝゝ。有難うございます。空腹で飲むと、キューと[illegible]がでんぐりかへるやうでな」

「さ。駒子さん。[illegible]といふことがあるなら[illegible]」

「これは[illegible]入りまする。[illegible]にかいたやうな[illegible]の傍で御座いますと、もう飲まねえ先から醉つて參りますよ」

五左衛門もお銚の傍で、まづい酒を無理に飲みながら、駒子の醉ひが廻つてくるのを待つてゐた。

もうとつぷりと日は落ちてしまつた。彼方に狼のやうな物凄い聲の啼く聲や、次々と空をつく樹の上からは、夜の露が落ちてくる。すつかり秋の色がこの山間の僻地を彩つて、丈たかく伸びきつた芒の根元や、[illegible]や[illegible]には痩せ衰へた蟲の聲がきれ／＼に聞えた。

「駒子さん。お前さんはこの邊の地理は詳しからうが……この峠を夜通るのも、何だか物騷になつたから、すこし遠廻りしても[illegible]な道を選んだ方が好いと思ふが、ほかに和歌山の城下へゆく道はあるかね」

と、まづ五左衛門は探りを入れて見た。

駒子は[illegible]な顏をして、ポン／＼と顋を叩いた。

「そりやござりますとも……けれども海を通らんと駄目でござりますな」

「海……といふと船だね」

「左樣で……」

と駒子は首を[illegible]ずつてから

「これから岸和田の城下まで廻りますとな、和歌山行の船が出ます。そこからは田邊、湯淺、加太行のお客樣が大勢お集まりになります。まあ／＼遠廻りでございますが、それが一番に宜しうござりませう。なあ婆さん」

「さうでござりますな」

と、老婆さんも[illegible]をしよぼ／＼させて云つた。

五左衛門はお銚と又顏を見合はした。

家庭醫學

皮膚の抵抗力
今から養へ
新鮮な空氣と日光に親めば感冒に何よりの豫防

元來丈夫さうに見える子供でも、その皮膚の抵抗力は大人より遙に弱いものである。一體子供はその體重に比較して、その皮膚の面積は大人より廣いものである即ち大人は普通その體重千グラムに對して皮膚の廣さが二百平方センチメートルであるが子供は大抵その二倍の六百二十平方センチメートルある

☆

斯やうに皮膚の面積が廣いため身體內からの蒸發物は澤山にあり更に空氣に觸れる皮膚面が廣いから體溫の調節がしにくいものである即ち抵抗力も全般に行渡らねばならぬ事になり、從つて故障に侵され易い弱い事になる、それ故に健全な子供として育て上げるには、どうしても皮膚の抵抗力を養成し、それを強めなければならない

☆

殊にこれから寒さに向ふので一層皮膚の抵抗力を養ふには出來るだけ子供を新鮮な空氣の下に遊ばせる事が何よりである、しかし乳兒には直接日光はあまり感心しないので、少くも一年位も經つた子供から試むべきである

☆ ☆

便利なガス風呂
速く經濟に焚く秘訣
湯がどうして沸くかの理窟をまづ知ることです

文明的で非常に便利なガス風呂はオケ一杯に水をはりガスの栓を十分に開けて點火するのですが、これは家庭にも仕事が多く風呂にだけ付き切つてゐるといふわけにいかぬので、規定の時間が經つとガスの栓を閉めれば中途で何度も湯加減を見なくとも、いゝ工合にわいてゐるといふ便宜をはかるためと、も一つは水のはり方を少くして點火すれば釜に故障が起るためです。

湯のわき方は誰でも理科で習つて知つてゐるやうに、熱せられた下の部分の水の密度が、他の部分よりも薄く輕くなり、次第に上層へのぼつて行き反對に上層の密度の濃いものが上昇した後を補ふために下の方へと流れてきます この對流作用は熱が加はるに從つて早く行はれるのです、冬の冷たい水よりも夏の溫かい水がわき易いのも、時間が經つに從つて熱くなるのも此のためです、風呂水はわき初めには下が熱く、上層が冷たいことから考へると、熱が次第に上層へ

傳はるやうに思はれるかもしれませんがこれは間違ひです、で時々湯をかき廻すことは、此の對流作用を人爲的に行ふことになりますからわき方を非常に早めるわけです出來るだけ水を少くすることも經濟的に時間で對流作用が早まりますから、わき方は早いのですが、水が少ければかき廻すだけでなく、水を補はねばなりませんから、手數は少しかかります、水は少くしても常に釜がかくれねばならぬのはいふまでもなく、水のない所を熱すれば銅の質も痛められるし、熱の方から云つても損なわけです、併しながらオケ杯一に水を入れて

省みないよりも、時々かき廻すか釜がかくれる程度に最初水を入れて水を足す方がわきが早くガスも非常に經濟です。

コロ〜轉る
達磨さんの話
支那第一の名僧です

ころ〜轉がつても、すぐ起きあがる。あの達磨さんの滑稽な姿は、おモチヤや、繪で皆さんも幼い時からのお友達のやうにおなじみでせう。

一體あんなマンマルな

眞赤…… な衣類を着たヒゲだらけの人があるものでせうかところが、ほんとにあつた人で而も、偉いお坊さんなのですよ。

☆

達磨さんはもとは、印度の大德で學問のある人でしたが、支那の國へ佛教をひろめるために來て、その時の梁（りやう）の武帝といふ支那の王樣に、佛教のお話をいろいろしましたが、なか〜王樣はその言葉をきかないので、達磨さんはやむを得ず、深い山の中へ入つて『わしはまだ〜修業が足りないのだ』といつて坐禪をくんで修業を始められました。

☆

坐禪…… といふのは、今でも禪宗の僧侶がする修業の一ツで、これは脚をアグラのやうに組んで坐り兩手を膝の上で合せ、半眼といつて半分眼をつぶつて、決して他所見をしないで何時間でも默つて、與へられた佛教の問題をジーッと一心に考へることです。今でも鶴見の總持寺、鎌倉圓覺寺越前の永平寺その他大きな禪宗のお寺では、佛教を修める僧侶がこの坐禪をしてゐるのであります。

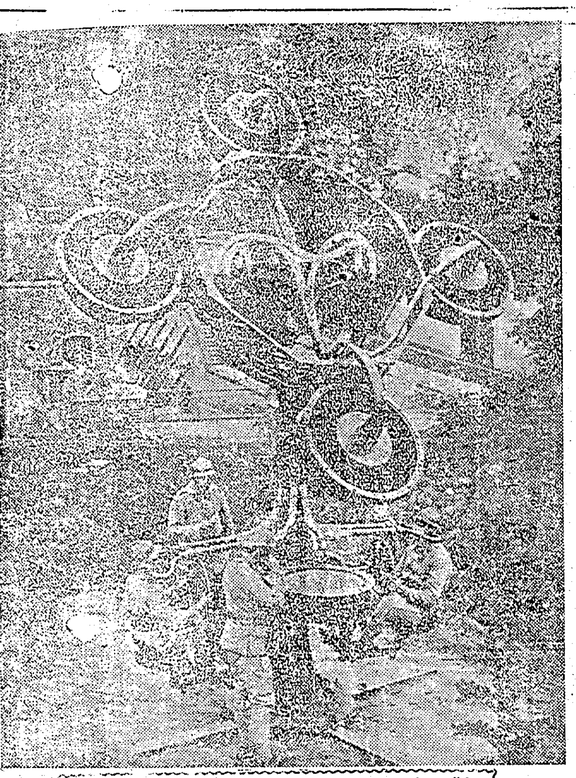
お釋…… 迦さまも佛教といふことを始めるとき、長い〜間この坐禪をして、いろ〜の教へをこしらへたのです。

✡

さて達磨さんは、人もゐず家もない深い山中のお寺で、壁に對つて坐禪を組んで考へ出しました。一年たち二年を過ぎ三年も經つたけれどもまだおもふ考へが出ません。三年と口に云つたらなんでもないことですがこの間ぢつと坐つてゐるなんてことは仲々出來るものではありません。けれども達磨さんは、それをつゞけたのです。

三年の三倍

九年…… 間も同じやうにぢーつと坐禪をやつてゐました。おかはいさうにもそのために、とう〜足が腐つてなくなつてしまひました。このことを面壁九年といひます。この足のない僧侶の姿があゝいふオモチヤや繪になつたのです。然しこんな恐ろしい熱心な修業をしたので圓覺大師といふ名を貰つて支那第一の名僧といはれる偉い人になりました。



驚くべき獨逸の進出

益々獨逸は軍備の研究に非常な進出を示し圖の如く世界第一の防空聽音機を發明して茲に十里四方に飛び來る飛行機の狀態を聽音すと………

けふの話
胎兒の性別を知る新しい各種の研究

人間の運命と胎兒の性別は、神ならぬ身の豫斷を許されぬ事實といはれてゐますがあくまでも研究を續けて倦むことの知らぬ科學者達は、胎兒の性別についていろいろの學說を發表してゐます

それ等＝ の學說中で代表的とされてゐるものはホーフアツケル、サッドレル法則、即ち父の年齡が母の年齡よりも多い時は女兒よりも男兒が多く生れ、父母の年齡が相等しい時は女兒よりやや少く男子が生れ、又父の年齡が母の年齡より少い時は、男兒の生れ方が女兒より益々少いと、この說は一時金科玉條のやうに考へられてゐましたが、最近では母親の年齡は胎兒の性別に直接の影響を與へないやうだと主張する學者もあつて、父母の年齡と胎兒の性別とは特に定說がないやうです

× ×

次にジーゲル氏の月經說、即ち月經開始第一日より九日までの受胎兒は、男兒八十六パーセント女兒十四パーセント、月經開始第十日より十四日までの受胎兒は男兒三十パーセント、女兒六十九パーセント、月經開始第十五日より二十二日

までの＝ 受胎兒は男兒十四パーセント、女兒八十六パーセント、月經開始二十三日より二十八日までは不受胎だと、この說は歐洲大戰當時、ドイツ軍の出征兵士が休暇で歸宅した際、その時期と月經との關係から、分娩時における性別を調査した統計によるものであるから他面において職業季節、營養狀態その他いろ〜の點を參酌してみる必要がありますので、一概を以て全貌を推すことはどうかと思はれますが、いづれにしても多少の參考にはなるでせう。

更に東洋の月經說、即ち月經の受胎日と胎兒の性別との關係については

東洋に＝ も昔から行はれてゐる俗說があります。それは月經終熄後一、三、五の奇數日は男子を孕み、二、四、六の偶數日は女兒を孕むといはれてゐます

（知らぬと損）法律智識
一讀・鬼に金棒

甲に貸した家に對して
乙が造作買收

貸家を甲に貸した處不景氣の爲め商賣もせず家賃も呉れませんので造作賣の札を出す樣に申しました處が甲は無斷で乙に造作を賣り、乙は當方に何の話もなく入りました乙にその旨話しました處乙は甲から造作を買つて入つたのだから甲に話てくれと云ふので甲に二三度交渉しましたが受け入れません中介人をして話し合ひました處七月迄の家賃は甲の方で拂ひ八月から乙の方へ敷金家賃の請求をしました仲々埒があかず本月十日に行つた處、家の中を壞して立退いて行先がわかりません、これは甲に掛合ふべきでせうか甲の方もまだ片ついて居りませんが何うすればよろしいでせうか

✡

八月から乙に貸すこととなつたとはそうしたことに話が極まつたものと思はれます、左すればその後のことはあなたと乙との關係で甲には責任はないやうに考へますから甲に掛合つても致し方がないのではないでせうか、それとも甲が責任を持つてくれゝば此の上はないでせうから甲とお話し合なさることも強ち徒勞とばかりは申せなからうかと思ひます

林檎の皮でシロップ
とても美味しい

眞紅の肌の美しい林檎が目のさめる樣に店頭を飾つてゐますこの林檎の皮を捨ててしまふのは全く勿體ないことです

◇…林檎二つ分の皮と心とを水三合の割で鍋に入れ、火にかけて十五分も煮てゐると、皮の色がすつかりあせてしまひ、反對に汁の方は美しい淡紅色となりますそこで皮と心とを去り──布巾で漉せば猶よろし

◇…あとの汁へ白砂糖を杯へ山一杯入れて一寸煮立てます。これで立派なシロップが出來、榮養の上からも嗜好の上からも申分の無いものになります。

……海外珍聞……
軍教補助費に百萬圓を計上

イギリスの大學及び公共立の各大學校には必ず將校教育といふものがあつて軍事教練教育を施して[illegible]もすれば[illegible]もあるといふ風で政府は今度百萬圓の補助をする事になつた、而して少年兵團にはイギリスが元祖で列國に魁けて組織團の編成、軍事教練組織會における將校的指導正しい心の養成等を訓練せしめ、その國費は現に三十一萬磅あるから近く此の團隊にも右の軍事教育を施すことになつた

軍國海軍小說 愛慾非常線
寺崎洋々洲作

松村秀彥畫

（梗概は前號參照）

……[illegible]一〇……

汚辱（六）

山田は富士の家を出てから海邊の方へ歩いて行つた、彼の胸は無念さで一つぱいだつた。

『うーむ、畜生女！何時か見てゐろ！必ず此の仇はとつてやるから……』

と、彼は思はず心に叫んだ。然し、彼は、如何な場合に於ても我を忘れる男ではなかつた。一つの事を失敗した瞬間には、もう次に取る可き手段に就いて考へを廻らしてゐる男だつた。

その時も、彼は富士に當つて失敗したので、今度は史郎に對しての手段を考へてゐた。

山田が港へ戻り乍ら歩いてゐる後から、ふと肩を叩く者があつた。振り返つてみると、それは思ひがけない史郎だつた。

『何うしたんだい？まだ話は定まらないのかい？要にはまだ逢つて話さないのかい』

史郎は、親しさを披瀝してさう訊いた。

『うむ、まだ逢はない』

山田は沈んだ聲で答へた。

『然し齋木君！僕は君の要の事に就いて是非君に打明けなければならない事があるんだ』

『僕の要の事に就いて？』史郎は訝かしさうに訊き返した。

『何んな事？』

『いや、歩き乍らでは話しにくいんだ……、何處か休む處はないかな？』

『あ、それぢや艦へ行つて話さう。僕は今艦へ用事があつて行くところだから……艦へ行けば酒もあるよ』

二人は幼い頃と丁度同じやうに、腕を組み合はせ乍らボートの繋いである處まで歩いて行つた。それから艦內の酒保に行く可くそのボートに乘つた。

艦には艦を守る少數の水兵外には大抵のものは上陸してゐなかつた。そして殘つてゐる水兵達も上官のゐないのを幸ひ大抵[illegible]つてゐた。

『ぢや僕は一寸自分の部屋まで行つて來るから此所で待つてゐて呉れ給へ。酒もすぐに持つて來るから』

史郎は、さう云ひ置いて、山田を甲板に殘したまゝ自分の部屋へ降りて行つた。が、間もなく例の酒を持つて引返して來た

『君と呑むのも久し振りだね』

史郎は栓を拔き乍ら懷しさうにさう云つた。

『あゝ』

山田は氣のない返事をした。

『君は今まで何處へ行つてゐたんだい？』

史郎は愉快さうに杯を傾け乍ら訊いた。

『何處つて……別に宛もなく方々を歩き廻つて來たばかりさ』

山田は、やはり沈んだ聲で答へた。

『今日、貴樣に逢つた時の話じや東京にゐたと云つてゐたじやないか』

『うむ、東京にもゐた、だが、何處へ行つても俺の身の置場がなかつたんだ。だから、かうして艦へ歸つて來たんだ』

『身の置場がないなんて一體何うしたんだい。何かそんな惡い事でもした覺えがあるのかい』

『うむ……』

『ほう、そんな事は一寸も知らなかつたが一體何んな事をしたんだい？差支へなかつたら僕に話して聞かせないか。丁度良い酒も出ないものでもないから』

特許新洗劑

モノゲン

[illegible]

毛糸、毛織物を縮めず、傷めず、人絹、ステープル製品は手早に揉まずに洗へ、白地は眞白く色物は落さず濯ぎは手輕にお洗濯出來る新洗濯劑です

藥店にあり 一二〇 ・五〇 ・三五

ゲンブマルセール石鹼本舗 第一工業製藥株式會社

特約店 平市二丁目 中野洋品店 電話五三番

吉田眼科醫院
平紺屋町 電話八六番
醫學士 吉田久雄

久 橫山商店
債券部 現物賣買 勸業債券 復興債券 割引債券
雜貨部 時計 万年筆 レザー各種 化粧品
平市仲間町五六
振替東京九〇六〇一 電話二七一番

是非！
御融通には御用命下さい萬事便利な御相談に應じます
公債、債券、質物一般
三井質店
平四 電話六〇六番

産婦人科 專門
根本醫院
（手術室完備）（入院隨時）
平市南町五二 〔電三四番〕
根本莊次郎
根本貞雄

磐城セメント會社特約店
久 釜屋商店
□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷は久の生命なり
磐城平市五丁目 電話九・九九

平病院（電六四一番）
平市警察署側（元共濟病院跡）
院長 醫學博士 鈴木定藏
內科 小兒科 院長 醫學博士 鈴木定藏
一般外科 産婦人科 部長 醫學士 池谷宗三郎
皮膚泌尿器科 レントゲン科 部長 醫學博士 鈴木定藏
物理的療法科 技師 岡田重德
藥劑科 部長 藥劑師 吉本孝平
往診隨時
◎診療時間 每日午前八時ヨリ午後九時迄（夜間診療ニ從事ス）（急患ハ此ノ限リニアラズ）
◎病室完備……入院隨時
◎入院料 特等一日貳圓 一等一日壹圓五拾錢 二等一日壹圓參拾錢 【自炊ノ便アリ】

金物 工具
文 山田文一商店
平市仲町通り
電話二六二番
クレオソート（赤誌正八升入） 壹圓貳拾五錢
精々コールタール（正八升入） 壹圓拾五錢

弊店の誇り
時計界空前の大革新
ヴエルヴオクソーア
時計洗滌機新設
正確完全なる時計修理は最新科學的修理機械を應用し誠實優秀なる技術にて完成す
何卒御用命下さい
時計 貴金屬 眼鏡
金光堂時計店
平市五丁目 電話一九五番

新研究の酵素化粧水
三共パパコロン 新製品
南洋の珍果パパイヤの果汁から抽出したパパイン酵素應用の特許新化粧水です。ニキビ・ソバカスの痕を消しスベスベしたお肌に若返へります。
一本 35セン
發毛料として評判のヨウモトニツク姉妹品ヨウモト香油（¥.60）もあります。
三共株式會社製品總代理店
（平市）西村屋藥局（電3）

外科
專門 X光線科
上田外科醫院
平市南町 電話一二九番

レストラン
サロン
食事 喫茶 酒場を兼ねた
平市田町 電二五三

三井タクシー
平二 電話六八五番